

職人の技と産業

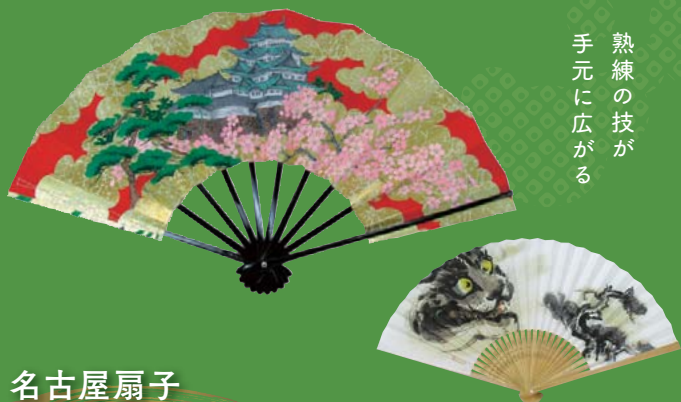


“渋”の気品を絹に宿す

名古屋友禪

尾張藩主徳川宗春の頃(1730~39)は華やかな尾張文化で、京都、江戸などから各種の職人が往来し、友禪の技法もその頃伝えられたと言われています。宗春の失脚後は元来の質素な気風に戻り、名古屋友禪は色数を抑えた単彩濃淡が特徴となりました。経済産業省指定の伝統的工芸品です。友禪は分業制ですが、西区の工房では全ての工程を行い、最後の工程である染色補正(色の直しやしみ抜き)も行っています。

体験 友禪工房 堀部
名古屋市中区万代町1-28 ☎052-531-9875(要事前予約)
URL <http://www.horibekoubou.com/>



熟練の技が
手元に広がる

名古屋扇子

名古屋扇子は宝暦年間(1751~64)に京都から現在の西区幅下付近に移り住んだ井上勘造父子によって始められたとされています。その後、扇の両面に渋をひいた「名古屋扇子」がつけられました。名古屋は京都と並ぶ屈指の扇子産地で、全国シェアの約3割を占めています。

体験 末廣堂
名古屋市中区新道1-20-14 ☎052-562-2267(要事前予約)
URL <http://suehirodo-sensu.co.jp/>



揚げてよし、飾ってよしの
粋な万能扇



和風

江戸時代から脈々と受け継がれた職人技で名古屋は和風の一大生産地です。受け継いできた伝統技法を用い、美しさと丈夫さ、揚力に優れた和風はインテリアとしても人気があります。名古屋の特産は扇風です。

体験 風茂本店
名古屋市中区押切二丁目10 ☎052-522-5261(要事前予約)
URL <http://www.tacomo.com/>



伝統という灯を絶やすことなく
今に伝える

名古屋提灯

室町時代にさかのぼる提灯づくりは、江戸時代には盆供養に提灯を使う風習が生まれ、盛んに作られるようになりました。名古屋提灯も歴史の古い業者が多く、和紙を通しての柔らかな光が欧米人にも好まれ、明治初期には貴重な輸出品として全国一の生産を誇りました。



体験 雅創作工房
名古屋市中区上名古屋1-11-5 ☎052-528-5360(要事前予約)
URL <http://382.co.jp/>



素材の特徴を
最大限に生かす職人技



製靴・革工芸品

名古屋の革靴づくりは昭和30~50年代に非常に盛んとなり、上質な本革の靴づくりが特徴です。また、靴以外の革工芸品の製作技術も受け継がれています。

体験 靴デザイン・クラフトスクール
名古屋市中区栄生1-3-10 ☎052-581-2728(要事前予約)
URL <http://shoecraftschool.jp/>



体験 革工房うえすと
名古屋市中区菊井1-21-17 ☎052-563-5212(要事前予約)
URL <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~bwest/>



思い出と癒しと笑顔を
届け続けて



菓子製造・菓子問屋

明道町や新道周辺には菓子製造業者や菓子問屋が集積しています。端緒は、名古屋城築城の石運び人、西枇杷島市場に集まる八百屋、美濃路の休憩所で旅人や人足衆を相手に駄菓子を販売した、など諸説あります。関東大震災後、名古屋の駄菓子は全国区となり、昭和30年代には全国の3割を占めるほどになりました。また、玩具つきのお菓子も名古屋が発祥と言われています。

区内には、県内の優れたものづくり企業「愛知ブランド」認定の菓子メーカーもあります。



名古屋から生まれた
和洋折衷の調べ



大正琴

その名のとおり大正元年に名古屋で生まれた楽器です。二絃琴をベースに、タイプライターのキーボタンを音階ボタンとして組み合わせることにより、弦を指で押さえる代わりに、音階ボタンを押さえて弾くのが特徴です。



体験 ナルダン楽器
名古屋市中区幅下1-9-15 ☎052-571-8882(要事前予約)
URL <http://www.nardan.co.jp/>



間近で見る職人技
つくる楽しさを感じる時間



ものづくり文化の館

「ものづくり文化の道」の魅力をより身近に感じていただくため、伝統工芸やレザークラフトなどの体験・実演イベント「ものづくり文化の館」をエリア内を中心に年3回ほど開催しています。詳しくは「ものづくり文化の道」ホームページにて。

